

## 耶馬溪「日本新三景」選定 100 周年記念事業について

(商工観光部観光推進課)

### ■概要

中津市の有する「耶馬溪」は、静岡県三保松原、北海道大沼と並び「日本新三景」と称されており、今年で選定 100 周年を迎えます。【詳細下記及び別紙】

中津市は、この 100 周年を契機に、100 年先も耶馬溪が多くの人々から愛される場所であり続け、さらには山国川で結ばれた当市の一体となった観光振興発展のため、各種記念事業を企画していきます。

### ■中津市の取り組み

中津市としましては、100 周年は記念すべき年であるとともに、今後の「耶馬溪観光の復活」のキーワードとして位置付け、市民の機運醸成、市内外への情報発信、受け入れ環境の整備などを推進していきます。これには、従来の「観る」観光から脱却し、「食す」や「遊ぶ」、「泊まる」といった来訪者の滞在時間の延長を図っていく必要があると考えています。

### ■具体的な取り組み

#### □耶馬溪「日本新三景」選定 100 周年記念事業実行委員会の設立

平成 28 年 1 月 27 日（水）、市内観光関連団体や地域に根付いた取り組みをされている方などが参画する実行委員会を設立しました。

【設立趣旨・委員構成など別紙参照】

当実行委員会では、単なるイベント実施だけではなく、今後の中津耶馬溪観光の将来を考えていく組織としていきたいと考えています。

会議では、民間の自由な意見を取り入れるとともに、この地に暮らす市民に、その魅力や活用策について協議していただき、今後の“観光まちづくり”につなげていきます。



#### □実行委員会の今後の動き

- ・第 2 回実行委員会 平成 28 年 2 月 24 日（水）14：00～本耶馬溪支所 2 階研修室

#### □イベント事業

##### □記念式典の開催

選定 100 周年を祝うとともに、今後の耶馬溪観光を考えるキックオフイベントとして開催。

- ・日時 平成 28 年 4 月 23 日（土）10：00～
- ・場所 本耶馬溪公民館（グリーンピア洞門）
- ・内容 基調講演、パネルディスカッションほか（詳細は第 2 回以降の実行委員会で確定）

※ 同日午後からは、記念イベントとして「日本新三景の碑」が立つ、青の洞門・競秀峰探勝道を利用した「登山会」も企画中です。

□その他の企画、イベント等については、今後の実行委員会で検討予定。

#### 【耶馬溪「日本新三景」選定 100 周年】

日本三景（松島・天橋立・宮島）にならって、出版社の「実業之日本社」主催による「日本新三景」の読者投票が、『婦人世界』誌上で行われ、全国投票の結果、1916（大正 5）年に、三保松原（静岡県）、大沼公園（北海道）とともに「耶馬溪」が選出。【同年 3 月 5 日発行の『婦人世界』で発表】2016 年 3 月、選定 100 周年を迎える。

## 耶馬溪「日本新三景」選定 100 周年記念事業実行委員会設立

### 設立趣旨

日本三景にならって日本新三景を決めようと、実業之日本社が雑誌『婦人世界』で読者投票を行い、1916（大正5）年3月5日発行春季増刊号にて最終結果を発表してから、2016（平成28）年に100周年を迎えます。

日本新三景選定100周年を祝う各種記念事業を実施していくとともに、100年前の賞賛に甘んじることなく、100年先も耶馬溪が人々から愛される場所であり続けるため、明日の耶馬溪の観光振興について考え、話し合う場として、耶馬溪「日本新三景」選定 100 周年記念事業実行委員会を設立するものです。

平成28年1月27日

耶馬溪「日本新三景」選定 100 周年記念事業実行委員会

No.	区 分	氏 名	所属機関・団体・役職名等
1	会 長	稲 田 亮	中津市副市長
2	副会長	渡 邊 直 二	中津商工会議所 観光委員長
3	副会長	古 園 智 大	中津市しもげ商工会 観光部会長
4	委 員	富 永 茉 莉	NPO法人中津文化協会 副理事長
5	〃	一 木 武 志	中津青年会議所 副理事長
6	〃	宮 内 政 臣	中津サイクリング協会
7	〃	木 村 通	中津旅行センター 代表取締役
8	〃	遠 入 伸太郎	中津市しもげ商工会本耶馬溪支所 青年部支部長
9	〃	吉 武 隆 善	弘法寺
10	〃	相 良 淳 司	レストインろくめいかん
11	〃	竹 本 和 也	手打ちそば 筍、青年グループ「スマイル」代表
12	〃	角 谷 朋 美	ラジオパーソナリティー、フリーアナウンサー
13	〃	野 村 毅	工房のむら
14	〃	梶 原 美由紀	梶原養豚場
15	〃	自 見 博 人	中津市三光支所長
16	〃	久 保 岳 士	中津市本耶馬溪支所長
17	〃	泉 清 彦	中津市耶馬溪支所長
18	〃	後 藤 義 治	中津市山国支所長
19	〃	直 田 孝	中津市商工観光部長
20	〃	濱 田 光 国	中津市商工観光部観光推進課長
21	事務局長	船 方 祐 司	中津耶馬溪観光協会課長
22	オブザーバー	八 坂 悦 朗	大分県北部振興局地域振興部長

# 日本新三景 百周年の 耶馬溪へ。



北海道 大沼(ポロトー)



大分県 耶馬溪



静岡県 三保松原

## 日本新三景とは・・・

日本三景(松島・天橋立・宮島)にならって、出版社の実業之日本社主催による「日本新三景」の読者投票が、『婦人世界』誌上で行われ、全国投票の結果、1916年(大正5年)に三保松原と大沼公園とともに耶馬溪が選ばれた。

その後、耶馬溪は大正12年には国の名勝に、昭和25年には周辺地域も含めて耶馬日田英彦山国定公園に指定されている。

耶馬溪の中でも代表的な景勝地である競秀峰の探勝道入口には、大正7年に建てられた日本新三景の記念碑(東郷平八郎揮毫)がある。



協力：一般社団法人七飯大沼国際観光コンベンション協会、静岡県静岡市、株式会社実業之日本社

## 中津市名勝マップ



# 大分県中津市 耶馬溪 「日本新三景」 選定100周年

## 1818(文政元年) 耶馬溪山天下無

この地を訪れた儒学者の頼山陽が、奇岩奇峰の連なる素晴らしい景観を見てこう漢詩に詠んだのが、耶馬溪という名の始まりである。

頼山陽が「筆舌につくしがたし」、この自然は描ききれないと筆を投じたという「擲筆峰」は、今もその名が景観とともに残っている。

## 1923(大正12)年 名勝に指定

耶馬溪が日本にとって風致景観の優秀な土地として認められ、史蹟名勝天然記念物保存法(現文化財保護法)に規定する名勝へ指定された。

3市2町の広範囲にわたり、競秀峰の景など全66景が存在する。

## 1950(昭和25)年 国定公園に指定

耶馬日田英彦山国定公園は、耶馬溪、日田盆地、英彦山という3県にまたがる広大な区域で、佐渡弥彦国定公園(現佐渡弥彦米山国定公園)と琵琶湖国定公園とともに、国立公園法(現自然公園法)に規定する国定公園へ日本で初めて指定された。

## 2016(平成28)年 日本新三景選定100周年

耶馬溪と名付けられて間もなく200年、日本新三景に選ばれて100年を迎える。

往時とは現地や周辺的环境も大きく変化しているが、それでもなお美しい景観を見に毎年多くの観光客が耶馬溪を訪れている。



一目八景(鳶ノ巣山)



魔林峡念仏橋



羅漢寺山門

## 新緑の 耶馬溪



八面山

観光のお問い合わせ

中津耶馬溪観光協会  
☎ 0979(64)6565

ガイドのお申し込み

中津耶馬溪観光案内所  
☎ 0979(23)4511